

部局名	教育委員会	所属名	給食センター	所属長名	石井 喜夫	電 話	482-1650
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3502		事務事業名称	給食センター運営事業						短縮コード	経常	3502	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	学校給食費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		学校給食法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和45年度から開始。児童・生徒の心身の健全な発達を資する為。 市立小・中学校の児童生徒に供給される給食に対し食材料の一括購入を行うことによって、安定した給食の提供が出来る状態にする事業です。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
児童・生徒の増加。食嗜好の多様化。						大項目（節）	01	学校教育						
						中 項 目	02	義務教育						
						小項目（施策）	03	健康・安全の確保						
						細 項 目	04	学校給食の充実						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業										
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市立小・中学校の児童・生徒(単独給食校除く)							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 食材料の一括購入。							
	※平成21年度に計画していること： 食材料の一括購入。							
意図 （何を狙っているのか）	心身の健全な発達。安全で栄養バランスのとれた給食の提供。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	19年度	20年度		21年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	児童・生徒数	人	13,107	13,553	13,636	13,832	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	年間延給食数	食	2,373,100	2,455,340	2,446,638	2,556,919	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	賄材料費の総費用	千円	583,452	604,245	601,924	726,992	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3502		事務事業名称		給食センター運営事業		所属名		給食センター	
				単位	1 9 年度	2 0 年度			2 1 年度		
					実績	計画	実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国		千円	0	0	0	0	0		
		県		千円	0	0	0	0	0		
		地方債		千円	0	0	0	0	0		
		一般財源		千円	4, 628	15, 712	2, 367	1, 852			
		その他		千円	578, 825	588, 533	599, 558	721, 175			
	主な事業費の内訳			賄材料費 583, 452		賄材料費 604, 245		賄材料費 601, 924		賄材料費 723, 027	
	人件費 (B)			千円	32, 892. 6	10, 881	13, 059. 4	13, 059. 4			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	616, 345. 6	615, 126	614, 984. 4	736, 086. 4				

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由							
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	給食センター運営事業を推進することにより健康・安全の確保が図られる。							
			☐ 結び付くが見直しの余地がある								
			☐ 結びつきが弱い・ない								
			☐ 評価対象外事項								
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	学校給食なので今後も児童・生徒の健康・安全を推し進める。							
			☒ 達成していない								
			☐ 評価対象外事項								
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	学校給食法・保健衛生等があるので民営化はなじまない。							
			☒ 可能性はない								
			☐ 評価対象外事項								
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の対象と意図で結果に結びつくことが出来る。							
			☐ 見直す必要がある								
			☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	現在の結果以上は、望めなく今後も推し進めていく。							
			☐ 効率性向上の可能性はある								
			☐ 両方可能性はある								
			☒ 可能性がない								
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等								
			☐ 臨時的任用職員等の活用								
			☐ I T化等の業務プロセスの見直し								
			☐ 受益者負担の見直し								
			☐ 類似事業との統合・役割見直し								
			☐ 上記以外の方法								
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある	類似 事務 事業 名称	1				実施主体 (所管部署)		
			☐ ない						実施主体 (所管部署)		

コード	3502	事務事業名称	給食センター運営事業				所属名	給食センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			食材料の千産千消事業等と取り入れた現状を管理検証し継続する。賄材料・経費の委託化は法制度からできない。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			賄材料費は受託者負担であることから、経費削減等はできない。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
ほぼ良好である。									

所属長コメント	「一括購入」「千産千消」の食材料にて、それぞれの調理場の創意工夫を生かし、バランスのとれた給食献立を大切にする，職員，従事者の業務意識高揚を指揮し，給食事業の向上を計る。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									